

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名 一般国道158号 <small>おおの あぶらさかどうろ</small> <small>おおの おおの ひがし</small> 大野油坂道路（大野・大野東 区間）	事業 区分 一般国道	事業 国土交通省 主体 近畿地方整備局																											
起終点 自：福井県大野市中津川 <small>おおの なかつがわ</small> 至：福井県大野市下唯野 <small>おおの しもゆいの</small>	延長 5.5km																												
事業概要 中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としている。 「永平寺大野道路」、「大野油坂道路」は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、異常気象時通行規制区間等の解消を目的とした自動車専用道路である。																													
H27年度事業化	H-年度都市計画決定	H-年度用地着手	H-年度未着手																										
全体事業費	203億円	事業進捗率	約1% 供用済延長	—																									
計画交通量	13,500台/日																												
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">(2.0)</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">(2.0)</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.3	(2.0)	(残事業)	1.3	(2.0)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1,461/3,581億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">1,235/3,245億円</td> <td style="text-align: center;">維持管理費</td> <td style="text-align: center;">226/336億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	1,461/3,581億円	事業費	1,235/3,245億円	維持管理費	226/336億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1,872/4,529億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">1,556/3,769億円</td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">260/576億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">56/184億円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	1,872/4,529億円	(走行時間短縮便益)	1,556/3,769億円	(走行経費減少便益)	260/576億円	(交通事故減少便益)	56/184億円			基準年 平成29年
B/C	(事業全体)	1.3	(2.0)	(残事業)	1.3	(2.0)																							
総費用	(残事業)/(事業全体)	1,461/3,581億円																											
事業費	1,235/3,245億円	維持管理費	226/336億円																										
総便益	(残事業)/(事業全体)	1,872/4,529億円																											
(走行時間短縮便益)	1,556/3,769億円	(走行経費減少便益)	260/576億円																										
(交通事故減少便益)	56/184億円																												
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.1~1.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.3(事業期間±20%) 【残事業】 交通量：B/C=1.1~1.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.3(事業期間±20%)																													
事業の効果等 ①高速道路ネットワークの形成 ・中部縦貫自動車道の整備により、大野市と中京圏の新たな高速ルートの形成により、物流搬送等の信頼性が向上。既存ネットワーク（東海北陸自動車道、中央自動車道）を相互に連絡する高速道路ネットワークが新たに形成され、福井市と首都圏とのアクセスが大幅に向上。 ②災害時の代替路の確保 ・北陸自動車道では、豪雨や豪雪等による通行止めが、過去5年間で129回発生している。中部縦貫自動車道の整備により、北陸自動車道が通行止めとなった場合には、中部縦貫自動車道～東海北陸自動車道経由のルートが機能することにより、災害時の代替路が確保される。 ③異常気象時通行規制区間等の解消 ・中部縦貫自動車道と並行する国道158号は、過去15年間で大雨、積雪、土砂災害等による通行止めが異常気象時事前通行規制区間を中心に55回発生。また同区間内には、線形不良箇所が19箇所存在する。永平寺大野道路、大野油坂道路の整備により、通行止めや平面線形の厳しい箇所が解消し、異常気象時通行規制区間等の解消が期待される。																													

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・平成29年8月、大野・勝山地区広域行政事務組合（勝山市長、大野市長、大野・勝山地区広域行政事務組合議長、副議長より構成）より早期全線開通の要望を受けている。
- ・平成29年8月、中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会（福井県、福井市、大野市、勝山市、永平寺町より構成）より早期全線開通の要望を受けている。
- ・平成29年8月、中部縦貫自動車道大野油坂道路整備促進連絡協議会（大野市長、大野市議会議長、大野商工会議所会頭、大野市区長連合会会長他より構成）より早期全線開通の要望を受けている。
- ・平成29年8月、中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会（岐阜県、福井県、石川県、富山県、長野県、山梨県より構成）より整備促進の要望を受けている。
- ・平成29年8月、福井県議会高規格道路建設促進議員連盟より早期全線開通の要望を受けている。

福井県知事の意見：

一般国道158号大野油坂道路（大野・大野東区間）の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

北陸新幹線敦賀開業に合わせた平成34年度までの全線開通に遅れが生じることのないよう必要な予算を確保するとともに、速やかな用地買収と工事の着手をお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道158号大野油坂道路(大野・大野東区間)」の再評価は当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり「事業継続」することが妥当と判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

永平寺大野道路、大野油坂道路沿線の勝山市、大野市、永平寺町は、近年、人口は減少傾向である。また、世帯数、自動車保有台数は横ばい傾向にある。永平寺大野道路は、平成29年7月8日に暫定2車線で開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成27年に事業化、用地進捗率0%、事業進捗率約1%（平成29年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

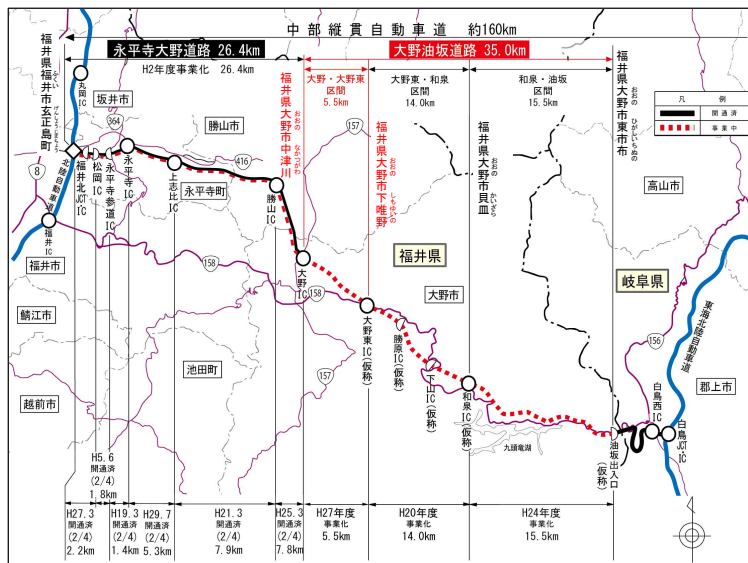
以上の状況を勘案すれば 事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。